



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社 四国銀行
 コード番号 8387 URL <https://www.shikokubank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 山元 文明
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 伊東 瑞文
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 特定取引勘定設置の有無 無
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 088-823-2111

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	32,225	2.7	4,404	31.8	4,740	4.8
2019年3月期第3四半期	33,148	7.3	6,460	42.0	4,521	37.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 8,092百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 3,958百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	111.66	111.43
2019年3月期第3四半期	105.79	105.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,998,713	154,889	5.1
2019年3月期	3,078,883	148,041	4.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 154,657百万円 2019年3月期 147,811百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		15.00	35.00
2020年3月期		15.00			
2020年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 配当金の内訳 2019年3月期第2四半期末 記念配当5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,300	13.1	5,300	44.7	4,000	35.7	94.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	42,900,000 株	2019年3月期	42,900,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	427,474 株	2019年3月期	464,572 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	42,453,974 株	2019年3月期3Q	42,738,110 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当行としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
3. 決算説明資料	7
(1) 2020年3月期 第3四半期の損益概況(単体)	7
(2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示(単体)	8
(3) 自己資本比率(国内基準)(単体・連結)	8
(4) 有価証券の評価差額(単体)	9
(5) 貸出金残高(単体)	9
(6) 預金等残高(単体)	9
(7) 預り資産残高(単体)	10
① 預り資産残高【総額】	10
② 預り資産残高【個人】	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の経常収益は、有価証券の売却益や償却債権取立益等は増加しましたが、有価証券利息配当金の減少等により、前年同期比9億23百万円減少し322億25百万円となりました。経常費用は、有価証券の売却損や償還損は減少しましたが、与信関係費用の増加等により、前年同期比11億34百万円増加し278億21百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比20億56百万円減少し44億4百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等の減少により前年同期比2億19百万円増加し47億40百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

主要勘定につきましては、預金は、個人預金が増加しましたが、法人預金と地方公共団体預金の減少により、前年度末比174億円減少し2兆6,245億円となりました。また譲渡性預金を含めた預金等は、前年度末比538億円減少し2兆6,671億円となりました。貸出金は、個人向け貸出金や中小企業向け貸出金は増加しましたが、大企業向け貸出金や地方公共団体向け貸出金が減少したため、前年度末比35億円減少し1兆7,706億円となりました。有価証券は、地方債の購入等により、前年度末比271億円増加し8,431億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2020年3月期通期の業績予想につきましては、当第3四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益が通期予想を上回りましたが、市場環境や経済情勢の見通しが不透明であることから、現時点においては2019年5月13日公表の予想数値を据え置きます。今後、業績予想の修正が必要になった場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
現金預け金	347,155	203,804
コールローン及び買入手形	3,274	29,446
買入金銭債権	14,415	14,118
商品有価証券	5	7
金銭の信託	1,000	1,122
有価証券	815,978	843,128
貸出金	1,774,192	1,770,659
外国為替	8,716	6,958
その他資産	85,708	97,378
有形固定資産	37,956	37,343
無形固定資産	2,965	2,603
退職給付に係る資産	308	937
繰延税金資産	17	17
支払承諾見返	6,206	5,869
貸倒引当金	△19,016	△14,681
資産の部合計	3,078,883	2,998,713
負債の部		
預金	2,641,951	2,624,535
譲渡性預金	79,067	42,605
コールマネー及び売渡手形	2,330	18,158
債券貸借取引受入担保金	79,343	54,719
借入金	81,831	58,922
外国為替	4	18
その他負債	28,723	28,775
退職給付に係る負債	69	70
役員退職慰労引当金	4	4
睡眠預金払戻損失引当金	1,128	911
ポイント引当金	52	49
繰延税金負債	5,749	4,838
再評価に係る繰延税金負債	4,377	4,342
支払承諾	6,206	5,869
負債の部合計	2,930,842	2,843,823
純資産の部		
資本金	25,000	25,000
資本剰余金	9,699	9,699
利益剰余金	86,144	89,645
自己株式	△952	△890
株主資本合計	119,892	123,454
その他有価証券評価差額金	25,225	28,000
繰延ヘッジ損益	△5,196	△4,647
土地再評価差額金	8,899	8,834
退職給付に係る調整累計額	△1,009	△985
その他の包括利益累計額合計	27,918	31,202
新株予約権	100	100
非支配株主持分	130	131
純資産の部合計	148,041	154,889
負債及び純資産の部合計	3,078,883	2,998,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
経常収益	33,148	32,225
資金運用収益	24,600	20,791
(うち貸出金利息)	15,128	14,826
(うち有価証券利息配当金)	9,363	5,874
役務取引等収益	5,016	5,273
その他業務収益	1,131	2,532
その他経常収益	2,399	3,628
経常費用	26,687	27,821
資金調達費用	2,327	2,134
(うち預金利息)	559	404
役務取引等費用	1,717	1,767
その他業務費用	2,907	242
営業経費	18,509	18,071
その他経常費用	1,225	5,604
経常利益	6,460	4,404
特別利益	15	27
固定資産処分益	15	27
特別損失	162	82
固定資産処分損	7	43
減損損失	154	39
税金等調整前四半期純利益	6,313	4,348
法人税、住民税及び事業税	1,089	1,982
法人税等調整額	702	△2,376
法人税等合計	1,791	△394
四半期純利益	4,522	4,743
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,521	4,740

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	4,522	4,743
その他の包括利益	△8,481	3,348
その他有価証券評価差額金	△8,085	2,570
繰延ヘッジ損益	△313	549
退職給付に係る調整額	98	24
持分法適用会社に対する持分相当額	△180	204
四半期包括利益	△3,958	8,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,959	8,089
非支配株主に係る四半期包括利益	0	2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	25,000	9,699	86,144	△ 952	119,892
当第3四半期連結会計期間末までの変動額(累計)					
剰余金の配当			△ 1,277		△ 1,277
親会社株主に帰属する四半期純利益(累計)			4,740		4,740
自己株式の取得				△ 0	△ 0
自己株式の処分			△ 26	61	35
土地再評価差額金の取崩			64		64
当第3四半期連結会計期間末までの変動額(累計)合計	—	—	3,501	61	3,562
当第3四半期連結会計期間末残高	25,000	9,699	89,645	△ 890	123,454

3. 決算説明資料

(1) 2020年3月期 第3四半期の損益概況(単体)

業務粗利益は、資金利益は減少しましたが、債券関係損益の増加等により、前年同期比3億35百万円増加し240億75百万円となりました。実質業務純益は、経費の減少により、前年同期比6億63百万円増加し61億34百万円となりました。経常利益は、株式等関係損益は増加しましたが、実質与信関係費用の増加等により、前年同期比24億29百万円減少し42億33百万円となりました。四半期純利益は、前年同期比1億9百万円減少し47億19百万円となりました。

(単位：百万円)

	2020年3月期 第3四半期 (9カ月間)	2019年3月期 第3四半期 (9カ月間)	前年同期比	2020年3月期 通期 業績予想
経常収益	32,292	33,480	△ 1,188	39,300
業務粗利益	24,075	23,740	335	(進捗率 82.16%)
(コア業務粗利益) (注) 1	21,724	25,224	△ 3,500	
資金利益	18,914	22,841	△ 3,927	
役務取引等利益	2,870	2,674	196	
その他業務利益	2,289	△ 1,775	4,064	
うち債券関係損益	2,351	△ 1,484	3,835	
経費(除く臨時処理分) (△)	17,941	18,269	△ 328	
人件費 (△)	8,479	8,669	△ 190	
物件費 (△)	8,326	8,471	△ 145	
税金 (△)	1,135	1,128	7	
実質業務純益 (注) 2	6,134	5,471	663	
(コア業務純益) (注) 3	3,783	6,955	△ 3,172	
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	3,707	4,463	△ 756	
一般貸倒引当金繰入額 (△)	532	△ 341	873	
業務純益	5,602	5,812	△ 210	
臨時損益	△ 1,368	849	△ 2,217	
不良債権処理額 (△)	3,890	612	3,278	
貸倒引当金戻入益	—	—	—	
償却債権取立益	1,026	410	616	
株式等関係損益	1,095	712	383	
その他臨時損益	399	340	59	
経常利益	4,233	6,662	△ 2,429	5,100
特別損益	△ 55	△ 146	91	(進捗率 83.00%)
固定資産処分損益	△ 15	7	△ 22	
減損損失 (△)	39	154	△ 115	
税引前四半期純利益	4,178	6,515	△ 2,337	
法人税等合計 (△)	△ 541	1,686	△ 2,227	
四半期純利益	4,719	4,828	△ 109	4,000
与信関係費用 (注) 4	4,422	271	4,151	(進捗率117.97%)
実質与信関係費用 (注) 5	3,395	△ 138	3,533	

(注) 1 コア業務粗利益 = 業務粗利益 - 債券関係損益

(注) 2 実質業務純益 = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

(注) 3 コア業務純益 = 実質業務純益 - 債券関係損益

(注) 4 与信関係費用 = 一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額 - 貸倒引当金戻入益

(注) 5 実質与信関係費用 = 与信関係費用 - 償却債権取立益

(2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示 (単体)

金融再生法ベースの不良債権は、前年同期末比4億82百万円減少(減少率1.19%)し398億88百万円となりました。前年度末比では、9億76百万円増加(増加率2.50%)しました。

	(単位：百万円)		(参考) (単位：百万円)
	2019年12月末	2018年12月末	2019年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,373	5,045	5,462
危険債権	28,921	32,018	29,909
要管理債権	3,593	3,306	3,541
合計	39,888	40,370	38,912
総与信残高に占める割合	2.21%	2.31%	2.15%

(3) 自己資本比率 (国内基準)

単体自己資本比率は、前年同期末比0.57ポイント低下し8.75%となりました。前年度末比では、0.34ポイント低下しました。連結自己資本比率は、前年同期末比0.57ポイント低下し9.08%となりました。前年度末比では、0.35ポイント低下しました。

(単体)	(単位：百万円)		(参考) (単位：百万円)
	2019年12月末	2018年12月末	2019年3月末
① 自己資本比率 (② / ③)	8.75%	9.32%	9.09%
② 自己資本の額	127,866	129,343	129,001
③ リスク・アセットの額	1,459,905	1,387,362	1,417,984
④ 総所要自己資本額	58,396	55,494	56,719

(注) 総所要自己資本額は、リスク・アセットの額に4%を乗じた額であります。

(連結)	(単位：百万円)		(参考) (単位：百万円)
	2019年12月末	2018年12月末	2019年3月末
① 自己資本比率 (② / ③)	9.08%	9.65%	9.43%
② 自己資本の額	133,430	134,758	134,630
③ リスク・アセットの額	1,469,034	1,395,929	1,427,030
④ 総所要自己資本額	58,761	55,837	57,081

(注) 総所要自己資本額は、リスク・アセットの額に4%を乗じた額であります。

(4) 有価証券の評価差額 (単体)

その他有価証券の評価差額は、前年同期末比114億22百万円増加（増加率41.22%）し391億31百万円となりました。前年度末比では、34億31百万円増加（増加率9.61%）しました。

○評価差額

(単位：百万円)

(参考) (単位：百万円)

	2019年12月末				2018年12月末				2019年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	826,162	39,131	42,639	3,507	894,966	27,709	32,471	4,761	800,531	35,700	38,851	3,150
株 式	53,179	18,206	20,795	2,588	50,476	13,742	16,965	3,222	49,331	15,474	17,992	2,518
債 券	538,899	10,091	10,657	565	592,204	9,824	10,113	289	506,094	11,685	11,861	176
そ の 他	234,084	10,833	11,186	353	252,285	4,143	5,393	1,249	245,105	8,540	8,996	455

(注) 1 その他有価証券については、時価評価しておりますので、評価差額は貸借対照表計上額(時価)と取得原価との差額を計上しております。

(注) 2 満期保有目的の債券はありません。

(5) 貸出金残高 (単体)

貸出金残高は、大企業向け貸出金は減少しましたが、積極的に推進しました中小企業向け貸出金と個人向け貸出金が増加したことに加え、地方公共団体向け貸出金も増加し、前年同期末比571億59百万円増加（増加率3.33%）の1兆7,701億9百万円となりました。前年度末比では、地方公共団体向け貸出金の減少等により35億44百万円減少（減少率0.19%）しました。

(単位：百万円) (参考) (単位：百万円)

	2019年12月末	2018年12月末	比較	2019年3月末
貸 出 金 残 高	1,770,109	1,712,950	57,159	1,773,653
うち中小企業等貸出金	1,206,720	1,170,693	36,027	1,192,163
うち中小企業向け貸出金	857,996	837,222	20,774	852,429
うち個人ローン	342,883	327,544	15,339	333,838
うち住宅ローン	312,558	296,134	16,424	302,404
うち地方公共団体向け貸出金	275,147	252,993	22,154	287,453

(6) 預金等残高 (単体)

預金等残高は、個人預金を中心に増加し、前年同期末比278億17百万円増加（増加率1.05%）の2兆6,702億44百万円となりました。前年度末比では、譲渡性預金の減少等により538億34百万円減少（減少率1.97%）しました。

(単位：百万円) (参考) (単位：百万円)

	2019年12月末	2018年12月末	比較	2019年3月末
預 金 等 残 高	2,670,244	2,642,427	27,817	2,724,078
うち個人預金	1,784,832	1,770,731	14,101	1,754,768

(注) 預金等 = 預金 + 譲渡性預金

(7) 預り資産残高(単体)

預り資産残高【総額】は、公共債は減少しましたが、投資信託と個人年金保険等が増加し、前年同期末比27億70百万円増加(増加率1.07%)の2,603億38百万円となりました。前年度末比では18億55百万円減少(減少率0.70%)しました。

① 預り資産残高【総額】

(単位:百万円) (参考) (単位:百万円)

	2019年12月末	2018年12月末	比較	2019年3月末
預り資産残高	260,338	257,568	2,770	262,193
公共債	17,141	18,437	△1,296	18,704
投資信託	53,110	51,119	1,991	53,525
個人年金保険等	190,086	188,011	2,075	189,963

② 預り資産残高【個人】

(単位:百万円) (参考) (単位:百万円)

	2019年12月末	2018年12月末	比較	2019年3月末
預り資産残高	252,929	249,469	3,460	254,115
公共債	11,846	12,338	△492	12,735
投資信託	50,996	49,119	1,877	51,416
個人年金保険等	190,086	188,011	2,075	189,963